

商品名	菌力アップ	糖力アップ	特濃糖力	ななちゃん	海王	コーソールド	本気Ca	マジ鉄	イーオス	純正木酢液	本格にがり
標準希釈 (倍)	100-200	200-500	300-700	300-2000	3000-10000	500-800	1000-5000	5000-10000	100-1000	500-1000	500-1000
菌力アップ	-	◎	◎	○ 注1	◎	◎	○	○	△ 注1	△ 注1	△ 注1
糖力アップ	◎	-		○	○	◎	○	○	○	○	○
特濃糖力アップ	◎	○	-	○	○	◎	○	○	○	○	○
ななちゃん	○ 注1	○	○	-	○	◎	○	○	○	○	○
海王 (うみおう)	◎	○	○	○	-	◎	○	◎	◎	○	○
コーソールド	◎	◎	◎	◎	◎	-	○	○	○	○	○
本気Ca (マジカル)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
マジ鉄	○	○	○	○	◎	○	○	-	○	○	○
イーオス	△ 注1	○	○	○	◎	○	○	○	-	○	○
純正木酢液	△ 注1	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
本格にがり	△ 注1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
他社微生物	△ 注2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
他社液肥 (NPK)	△ 注3	○	○	○	○	○	△ 注4	△ 注4	○	○	△ 注4
他社液肥 (Ca・ミネラル)	△ 注3	○	○	○	○	△ 注4	○	○	○	○	○
他社土改剤・発根剤など	△ 注3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
除草剤	×	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5
殺菌剤 (銅剤・アルカリ製剤を除く)	×	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5
殺虫剤	×	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5	○ 注5

◎おすすめ (相乗効果) ○大丈夫です △注意が必要です ×基本的に不可です

原則として、原液同士、または高濃度での各資材の混用はできません。各資材が、水に対して標準の希釈倍率で混合または混入し、混ざる場合の混合適用表です。(原液同士の混合は、下記その他の注意点を参照。) また、あくまでも目安ですので、必ず混用できることを保証するものではありません。

注1) 低pHや高濃度による微生物への影響があるため、ななちゃん1000倍以上、イーオス3000倍以上、木酢液1000倍以上、にがり1000倍以上で混用可。

注2) 基本的にお勧めしません。異なる微生物資材の微生物群が、相互に拮抗し効果を低減するものか、または逆に相乗効果があるのかは、やってみなければ分からないため、菌力アップの効果を判断することが難しくなると考えられます。また菌力アップには250種以上の土壌環境に必要な微生物種をほとんど揃えているため、他の微生物資材によって補完する必要も無いと考えています。

どうしても混用したい場合、不可ではありません。薬害などの心配もございません。ただし、過去の経験から、乳酸菌資材の混用はNGと思われれます。パチルス菌、シュードモナス、菌根菌、トリコデルマ、その他の微生物については、知見がありませんが、おそらく大丈夫だと考えております。また、微生物農薬についても、微生物農薬の効果をきちんと発揮するため、混用はお勧めしません。

なお、混用ではなく、使用時期が違う場合は、問題ない場合もあります。例えば太陽熱消毒時に使用する微生物資材は他社のもので、栽培中に使用する微生物資材は菌力アップ、という場合、全く問題はないものと思います。また、地上部に散布する微生物農薬や微生物資材(酵素資材などを含む)と、灌水に使用する菌力アップも、互いに影響しません。

注3) 強酸性、強アルカリ性の資材や肥料と混用する場合は、微生物に影響する可能性が高いですので、基本的には混用をお勧めしません。具体的には、その資材を希釈した状態でpH5.5~7.5の範囲でなければ、微生物に影響が強いと判断し、混用を控えます。亜リン酸資材やフルボ酸やクエン酸などを含む低pHの土壌改良資材や発根促進剤も同様の考え方です。

注4) この組み合わせの混用は、リン酸と金属イオンが反応し、結合する場合があります。相互に使用する希釈倍率にて、混用して、白く濁る、結晶が出てくるなどの反応が見られる場合は、混用しないほうが良いと考えられます。なおすでに混ぜてしまった、流してしまったという場合、効果は低いと思いますが、問題はございません。薬害等の心配はないと思います。ただし点滴チューブには詰まる可能性があります。

注5) 農薬の注意事項に、液肥や他の資材との混用をできない旨の記載がある場合は、混用できません。また農薬の効果を落とす場合がありますので、液肥・資材等の希釈倍率は薄めの濃度でご利用いただく方が良いと思います。特に殺菌剤と混用する場合は、糖力アップ、特濃糖力アップ、ななちゃんは、微生物が好きなアミノ酸が多く、殺菌効果を落とす可能性が高いため、ごく薄く混用するか、使用をお控えください。

その他の注意点

・**点滴チューブでの使用**が推奨できないものは、糖力アップ、特濃糖力アップ、の2点です。目詰まりの可能性が高いです。どうしてもしたい場合は、先に5~10倍希釈にして粘度を下げてから、ストッキングや目の細かい布などで濾過したものをご利用いただいている事例がございます。ただし、吸い込み口、または混入口には、必ずフィルタを設置してください。また、灌水後は真水を流すことをお勧めします。以上は、自己責任でお願いいたします。

・**液肥タンク内に作り置き**する場合、糖力アップ、特濃糖力アップ、ななちゃんは、薄まると腐敗する恐れがありますので、作り置きができません。また、菌力アップと他の有機資材(海王や糖蜜など)を混合して作り置きしたり、培養したりすることはできません。菌力アップ、糖力アップ、特濃糖力アップ、ななちゃんを混ぜて作るものは、1~2日で使い切るようにしてください。

・**原液同士の混合が可能な資材**

- ①グループ：菌力アップ、糖力アップ、特濃糖力アップ、海王
- ②グループ：糖力アップ、特濃糖力アップ、ななちゃん、海王、本気Ca、マジ鉄、イーオス、純正木酢液、本格にがり
- ③グループ：コーソールド、糖力アップ、特濃糖力アップ、ななちゃん、海王、イーオス、純正木酢液

※糖力アップ、特濃糖力アップ、ななちゃんが入る場合は、1~2日以内に使用してください。(薄まると腐敗する可能性があるため。)

・**水耕栽培での使用**は、十分な知見がないために推奨しておりません。使用する場合、菌力アップ、糖力アップ、特濃糖力アップ、ななちゃんについては、溶存酸素が十分でなければ、溶液自体が腐敗する恐れがありますので、ご注意ください。それ以外の資材については、薄めに使用すれば、問題はないものと思います。また、糖力アップ、ななちゃん以外の資材は、葉面散布での利用も、ご検討ください。

・**養液栽培(土耕、培地)での使用**は、問題ありません。ただし、ロックウールなど有機物の少ない培地の場合は、菌力アップの微生物の定着が悪い場合があります。また、養液を毎日灌水する設計となっていると思いますが、菌力アップについては、薄くして毎日灌水するのではなく、定期的に(週1回など)、標準の量、または倍率で灌水してください。薄くしすぎると、微生物が少なくなりすぎるからです。それ以外の液肥や資材は、薄くして毎日灌水しても良いですし、または、定期的に標準希釈倍率で灌水しても良いです。